

一般用医薬品入門

責任者・コーディネーター	地域医療薬学分野 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	地域医療薬学分野		
対象学年	2~4	区分・時間数	講義 6時間
期 間	前期		
単位数	0.5単位		

・学修方針（講義概要等）

処方箋がなくても購入できる医薬品に要指導医薬品や一般用医薬品などがある。これらを有効に活用することで、健康の維持や軽い症状に対応でき、健康寿命の延伸や医療費の適正化に貢献できる。薬剤師はこれら全ての医薬品を取り扱えるため、どのような症状に使用でき、販売の際の注意事項に関する基本的知識を修得する。3年次の薬事関係法規・制度1や4年次の臨床薬学2に関連し、医療用医薬品の知識に加え、一般用医薬品等の知識や医薬品の販売制度を知ることにより、地域住民のセルフメディケーションの支援に必要な基本的知識を学ぶ基盤となる。

・教育成果（アウトカム）

一般用医薬品の知識を学修することで、セルフメディケーションの支援を含め、地域住民の健康支援として情報提供ができるようになり、自身が健康維持に積極的になる。また、自分の健康維持に関心を持ち、軽度の症状の際に自ら一般用医薬品等を選択し、対応できるようになる。また、登録販売者の資格取得挑戦への学修の機会にもなる。

（ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4）

・到達目標（SBO）

1. セルフメディケーションについて説明できる。（☆）
2. 一般用医薬品等の役割を説明できる。（☆）
3. 一般用医薬品等でおこった薬害について説明できる。（☆）
4. 一般用医薬品等でおこる重篤な副作用を列举できる。（☆）
5. 代表的な内服薬の成分を列举できる。（☆）
6. 代表的な生活改善薬や外用薬の成分を列举できる。（☆）
7. 一般用医薬品を正しく使用する際の注意事項を説明できる。（☆）
8. 一般用医薬品の添付文書の記載内容を説明できる。（☆）
9. 一般用医薬品の販売に関する注意事項を説明できる。（☆）

・講義日程

（矢）西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/17	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	一般用医薬品・要指導医薬品の役割 1.セルフメディケーションについて説明できる。（☆） 2.一般用医薬品の役割を説明できる。（☆）

					<p>3. 一般用医薬品でおこった薬害について説明できる。(☆)</p> <p>4. 一般用医薬品でおこる重篤な副作用を列挙できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：処方箋がなくても入手できる医薬品がなぜ必要なのかについて考え、400文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート(400~600文字程度)を提出してください。</p>
4/21	金	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>一般用医薬品が使える症状</p> <p>1. 代表的な内服薬の成分を列挙できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：一般用医薬品として発売されている内服薬は、どのような症状の時に使えるか事前に調べ、400文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート(400~600文字程度)を提出してください。</p>
4/25	火	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>生活改善のための一般用医薬品</p> <p>1. 代表的な生活改善薬や外用薬の成分を列挙できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：一般用医薬品として発売されている外用薬や生活改善薬は、どのような症状の時に使えるか事前に調べ、400文字程度でまとめてきてください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート(400~600文字程度)を提出してください。</p>
5/15	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>購入(販売)時、使用時の注意事項</p> <p>1. 一般用医薬品を正しく使用する際の注意事項を説明できる。(☆)</p> <p>2. 一般用医薬品の添付文書の記載内容を説明できる。(☆)</p> <p>3. 一般用医薬品の販売に関する注意事項を説明できる。(☆)</p> <p>【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：一般用医薬品の添付文書を読んで、どんな注意事項が記載されているか調べ、400文字程度でまとめてきてください。</p>

					事後学修：授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600文字程度）を提出してください。
--	--	--	--	--	--

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	薬の選び方を学び実践する OTC薬入門〔改訂第6版〕	上村直樹、鹿村恵明 ほか	薬ゼミファーマブック	2021

・成績評価方法

聴講態度（50%）とレポート（50%）で評価を行う。

・特記事項・その他

<p>事前学修・事後学修のポイント</p> <p>事前学修については、事前に moodle 上に課題を提示しますので、事前課題としてレポート用紙等に 400 文字程度でまとめてきてください。毎回 30 分程度要します。</p> <p>事後学修については、授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポート（400～600 文字程度）を作成し、提出してください。毎回 30 分程度要します。</p> <p>事前課題やレポート等に対するフィードバック方法</p> <p>課題に関しては、授業中に回答例の一部を紹介するなどフィードバックを行う。</p> <p>提出されたレポートは、コメントを付けて、直接もしくは moodle 経由にて返却する</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（パナソニック CF-NX3）	1	スライド投影のため
講義	パソコン(Microsoft Surface Laptop Model1769)	1	スライド投影のため